

デイサービスあつた 2022 年度 保護者向け自己評価アンケート結果

1. 放課後等デイサービス自己評価

実施時期	2023 年 1 月 11 日～2023 年 2 月 11 日	回答方法	Web 上におけるフォームにて匿名回答
回答状況	配布 30 人 回答 26 人 回収率 86%		

<自己評価集計結果>

区分	設問	はい	どちらとも	いいえ	○保護者のご意見 ●改善目標
①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか。	100%	0%	0%	○スペースは十分に確保されており、非常に満足しているが、建物自体の老朽化が気になる。 ○教室のスペースもたっぷりあり庭もあるのはとってもいい。 ○広いスペース、外遊び、プールなどバリエーションがある。
②	職員の配置数や専門性は適切であるか。	96.2%	3.8%	0%	○安心してお任せできる先生方ばかり。 ○きめ細やかな対応をして下さる職員さんが居る。 ○放課後等ディの経験値が少ない先生がいる。
③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置など、バリアフリー化の配慮が適切になされているか。	38.5%	38.5%	23.1%	○建物の構造上、老朽化で難しい面も多いが、人力と工夫が感じられる。 ○スロープはないが階段には手すりがあり、階段が上れないお子さんには職員さんが介助している。 ○①の解答のとおり、建物自体がバリアフリーに未対応であり、後付けの対応策なので、く対策はされているが適切なのかは疑問である)と思う。しかし、職員さんの気配りで問題なく過ごせていると感じる。 ○エレベーターなどあったら身体の不自由な子どもも通いやすい。 ●建物のバリアフリー化については、足りていないと感じています。その分、階段を上る時には必ず複数人の大人がついて介助するようにするなど、子ども職員もお互いが安心安全に過ごせるように配慮しています。
④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で放課後等デイサービス計画が作成されているか。	96.2%	3.8%	0%	○コロナ禍であり制限もあるので致し方ない部分もあるが、活動が固定化していると感じる。 ○保護者のニーズや課題がしっかり反映されていると思う。 ○適宜、保護者のニーズも聞き取りの上、活動に反映していると思う。
⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか。	92.3%	7.7%	0%	○長期休みの際には、遠出したりしてもらえるので気分転換になるので助かる。 ○支援を必要とする子どもたちに対し、十分な工夫がなされていると思う。 ○長いお休みには遠出するなど、子どもも楽しみにしている。
⑥	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか。	96.2%	3.8%	0%	
⑦	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか。	96.2%	3.8%	0%	○子どもの性格、特性を理解していただけているので話しやすい。 ○きめ細やかに声かけをしてくれている。
⑧	保護者に対して面談や、困りごとに対してのアプローチはあるか。	100%	0%	0%	○いつも様子を聞いてくれている。問題行動に関してはこうしてみたらどうだろうか。などアドバイスをもらえ、保護者の心配もしてくださり助かっている。子どもの性格をよくご存じなので相談しやすい。 ○きめ細やかに声かけをしてくれている。 ○親のメンタルケアもありがたい。とっても細かく聞いてくれる。
⑨	保護者会等の開催等により保護者同士がつながれる機会を設けているか。	42.3%	38.5%	19.2%	○保護者会はないが、送迎時に話す機会もあり、通園時から知っている方が多いので特に問題はない。 ○コロナ禍のため、やむを得ないと考えている。 ○コロナなのでなかなか開催も難しい中 よくやってくれている。 ○送迎時に他の通所者親子の顔がわかるのは嬉し

					い。 ○コロナ禍であるため、致し方無いと思う。 ○あつたの通園に通っている時はあつたけれど、デイになってからは、コロナもあり、ないと 思う。 ○普段はあるがコロナ禍で減ってしまった。 ●コロナ禍のため、近年は実施できていない状況ですが、今後も感染状況や情勢に応じて保護者同士が つながれる機会を考えていきたいと思っています。
⑩	子どもや保護者からの苦情や意見・要望に対して迅速かつ適切に対応しているか。	92.3%	7.7%	0%	
⑪	おたよりやホームページ等で行事のご案内や年間予定、連絡事項の情報や業務に関する自己評価の結果等を子どもや保護者に対して発信しているか。	92.3%	7.7%	0%	○年間予定がもらえる。毎月の開所日、お知らせがあればメールももらえる。
⑫	個人情報に十分注意をしているか。	96.2%	3.8%	0%	○基本的に注意して下さっている。
⑬	事故防止マニュアル、感染症対応マニュアルなどを策定し、保護者に周知・説明されているか。	80.8%	19.2%	0%	○コロナ禍で大変な中、して下さっていると感じる。 ●職員同士で危険個所や子どもの姿から考えられる危険な行為を事前に共有しながら運営しています。今後、マニュアルとして保護者と確認することも検討していきます。
⑭	定期的に非常災害の発生に備えた定期的防災訓練が行われているか。	61.5%	38.5%	0%	○放課後等デイの子どもたち参加型訓練を増やしても良いように感じる。 ○週に1回の利用なので、回答しかねる。 ○利用日数が月2回の午前中、と少ないので、やらなくてもいい。 ●毎月、定期的に防災訓練は様々な内容で実施しています。実施した内容などについて保護者に伝える方法も検討していきます。
⑮	子どもは通所を楽しみにしているか。	96.2%	3.8%	0%	○幼少期から施設を利用しているので、生活の一部になりつつある。 ○非常に楽しみにしている。 ○ここだけは休まずに通えている。
⑯	事業所の支援に満足しているか。	96.2%	3.8%	0%	○以前に比べて、その日の活動の様子が見えてこないことがある。他の事業所では、送迎時の活動報告に加え、毎回連絡ノートにしっかり記載がある。コロナ禍で教室での引き渡しではないことも理由だと感じる。 ○いつも話をきいてくださり、子どもの事を1番に考えてくださるので感謝している。 ○いつもありがとうございます。

2. 児童発達支援自己評価

実施時期	2022年12月	回答方法	アンケート用紙での匿名回答
回答状況	配布8人、回答8人、回収率100%		

<自己評価集計結果>

区分	設問	はい	いいえ	どちらとも	わからない	保護者のご意見	保護者の評価を踏まえた改善目標
①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか。	100%	0%	0%	0%	○園庭も広くてのびのびあそんでいる。 ○1部屋がとても広くて十分だと思う。 ○広いスペースで色々なあそびをさせてもらって楽しそう。 ○楽しそうに走り回ってあそんでいる。	
②	職員の配置数や専門性は適切であるか。	100%	0%	0%	0%	○小さな質問にも快く応えてくれている。	
③	生活空間(部屋、トイレ等)	100%	0%	0%	0%		

	は、子どもにとってわかりやすい環境か。						
④	生活空間(部屋、トイレ等)は、清潔で心地よく過ごせる環境に整っているか。また、子どもに合わせた空間になっているか。	87.5%	0%	12.5%	0%	○清潔ではあるが、老朽化は気になる。 ○動物の絵がイスや靴箱、引き出しに貼ってあり、分かりやすい。	○引き続き、毎日の清掃に努めます。 ○少しずつ直したり、整理整頓したりしながら子どもたちにわかりやすく、危険がないような環境を目指していますが、足りない面もあると思います。業者に依頼することも含めての環境改善も検討していきたいと考えています。
⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で個別支援計画が作成されているか。	100%	0%	0%	0%	○保護者のニーズを聞く姿勢を見せていただいている。 ○丁寧に細かく計画されていると思う。	
⑥	個別支援計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	0%	0%	○状況に応じて、多様な支援がされていると思う。	
⑦	保育内容は、子どもたちに合ったものか。	100%	0%	0%	0%	○個々の子どもたちに合った保育をしていると思う。 ○身体を使ったあそびや音楽あそび、製作など、なかなか家ではできないあそびで子どもも楽しそう。	
⑧	契約に関すること、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか。	100%	0%	0%	0%		
⑨	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか。	100%	0%	0%	0%	○連絡帳に合わせて、フィードバックをもらえる。	
⑩	保護者に対して面談や、子育てに関する困りごと、相談に対する助言等の支援が行われているか。	100%	0%	0%	0%		
⑪	保護者同士がつながりをもてたり交流ができたりするなど、保護者同士の連携が支援されているか。	100%	0%	0%	0%	○子どもに手がかかり、今までできない部分があったが、単独が始まるきっかけで交流が持てるようになり、うれしく思う。	○コロナ禍で制限が多い中ですが、安全に保護者同士の交流が行えるようプログラムを考えていきます。 ○子どもを単独で受け入れて保育する機会をつくることで保護者同士の交流するチャンスが増やせているといいなど考えています。
⑫	子どもや保護者からの苦情や意見・要望に対して迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	0%	0%		
⑬	定期的におたよりやホームページ、メール等で、行事予定や保育内容、連絡事項に関する情報を保護者に対して発信されているか。	100%	0%	0%	0%		
⑭	個人情報に十分注意をしているか。	87.5%	0%	0%	12.5%		
⑮	管理者・児童発達管理責任者は、子どもや保護者にとって、支援や運営などにおいて適切な業務をしているか。	100%	0%	0%	0%		
⑬	緊急時対応、事故防止、感染症等におけるマニュアルが策	80%	0%	20%	0%	○コロナに関しては、マニュアルがあるかと思うが、それ以外や検査ができない時など、先	○職員間での周知はあるが、保護者にも周知・説明を行い、ご協力いただけるように努

	定され、かつ保護者に周知・説明がされているか。					生判断になるようで、先生の負担が大きく、大変そうに思う。	めていきます。 ○緊急時や感染症などのマニュアルについては、配布して確認するとはできていなかったが、保護者から連絡がきた時点で詳しく状況をききとり、マニュアルにそって受診をお願いするなど、個別に伝える形で対応してきました。
⑭	非常事態に備えた防災訓練等、災害に対する訓練は行われているか。	37.5%	0%	25%	37.5%		○放デイでは、月1回の訓練を行っているが、児発や通園との合同の訓練も検討していきます。
⑯	子どもたちは、楽しみに通えているか。	100%	0%	0%	0%	○親子ともに楽しみに通えている。	○今後も、子どもたちや保護者の方々ともに安心して楽しく通える内容・プログラムづくりを行っていきけるよう努力していきます。 ○楽しいことや初めてで少しドキドキすることも含めて色々な経験が親子で積んでいけるといいなど考えています。
⑰	ちゅうりっぷぐみの保育やデイサービスあつたの支援は、子どもたちや保護者のみなさんにとって十分なものか。	100%	0%	0%	0%	○子どもはもちろん、ママにとってもメンタルケアしてもらえる大切な場所。 ○駐車場がもっと広いと良い。 ○週2日、楽しく通えている。	○送迎や荷物の用意など、保護者の方の協力があつてこそ保育ができています。急な予定変更などのお願ひもあり、ご迷惑をお掛けしたこともあるとは思いますが、期待して通ってきて下さっていることが子どもからも保護者からも伝わってくることを嬉しく感じています。

以上の結果を公表致します。頂いた意見をもとに、プログラム内容等の改善に努めていきます。
アンケートへのご回答ありがとうございました。

管理者・児童発達管理責任者：坂野 雅世

デイサービスあつた 事業所職員向け 放課後等デイサービス自己評価表(2022年度)

		チェック項目	はい	どちらとも	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			○広さを確保しながら行っている。	○室内は広さがあるが、トイレなどが身体の不自由な子も利用しやすく、介助しやすくなるといい。
	2	職員の配置数は適切である	○			○職員の配置を基準以上になるよう考えて行っている。	○引き続き、子の人数だけでなく、障害やその子に合わせて人数を増やせるといい。

	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている			○	○階段をあがることが難しい子は職員が抱き上げて登っている。 ○バリアフリーではないが、歩行が心配なお子さんにはスタッフが介助で付き添っている。	○バリアフリーを進め、どの子も利用しやすくなると良い。 ○あつた建て替えの際には、バリアフリー化、エレベーターの設置が課題。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			○ケースを行い振り返りとともに改善点を共有している。	○より目標設定が職員全体で共有できるといい。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			○より多くのアンケートを収集できるように紙ベースだけでなく、インターネットも活用している。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○				○すてっぷサポート、法人HPに掲載している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○				○通所しているお子さんのケースを取り上げみんなで会議をしている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			○全職員ではないが、パート職員含め、研修参加への呼びかけをしている。	○パート職員も参加できるようにしている。 ○研修に出られなかった職員には、出た職員から内容を伝えるなど、共有できるようにしていく。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○				
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている		○			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している			○		○メンバーが固定されているので、好きな活動を中心に行うとプログラムが固定されがちになってしまうが、様々なプログラムを行っていきけるよう改善していく。

	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している		○		○学校休業日は、長時間開所や、特別プログラムを行うようにしている。	○児発、放デイの多機能型なので、児発との兼ね合いもあるが、学校の長期休みの中身づくりは今後検討していく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している		○		○基本は、集団中心だが人の多い所や声が苦手な子など、子どもにあわせて少人数でのプログラムも実施している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○				
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○				
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○				
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○				
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	○				
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○				
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている					
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		○発達センターあつたと同一敷地内で事業を行っているため、幼少期の様子などを把握するようにしている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、			○		○利用頻度が少ないお子さん(1/W程度)が多く、移行後の情報提供は行っていないが、必要

	それまでの支援内容等の情報を提供する等している					に応じて、電話連絡や資料の作成などを行っていく必要がある。
25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○				
26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		○近くにないため、あまり頻繁には行けないが、児童館に数回行き、あそぶ機会をつくっている。	
27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○				
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○				
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○			
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		○コロナ禍で保護者会が実施できていない。全員の保護者で集まることはまだ難しいが、少人数での保護者期の実施(曜日ごとなど)を検討していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○		○予定等の連絡はメールを使い、すぐにやり取りできるようにしている。
35	個人情報に十分注意している	○				

非常時等の対応	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		○コロナの関係で地域住民を招待することはできなかったが、OBの方々に声をかけ、今年度は秋まつりを実施。	
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○				
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			○月1回、色々な想定をした訓練を実施している。	○避難訓練を実施した際の子どもの様子は、その都度、保護者の方へお伝えしていく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○				
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			○登会時に保護者の方とアレルギー表示の確認を行い、おやつを提供している。	○一度、誤食させてしまうことがあったため、マニュアルの再確認を行い、改善してきている。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○					

デイサービスあつた 事業所職員向け 児童発達支援評価表(2022年度)

		チェック項目	はい	どちらとも	いいえ	工夫している点	課題・改善すべき点
環境整備等	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○				
	2	職員の配置数は適切であるか	○				
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリ			○	○導線を意識している。 ○バリアフリーにはなっていないため、未歩行児は抱っこをして階段を昇降している。	

		一化や情報伝達等への配慮が適切になされているか				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか		○		○子どもたちの登園前、帰宅後の2回、清掃している。 ○清掃は行っているが、建物の老朽化や害虫が多いため、対策が必要。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		○		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○		○園内で行う研修には、パート職員の参加を呼び掛けている。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか		○		
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか		○		

適切な支援の提供	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			○季節感や個々の特性に合わせた療育・保育づくりを意識している。 ○前・後半期の2期で計画を作成し、子どもに合わせた支援を行っている。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○				
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		○			
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成しているか	○			○基本的には、少人数での集団活動が中心だが、本人のペースに合わせて、個々の活動も行っている。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○				
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○				
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○				
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○				
関係機関や保護者との連携関係機関や	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○				
	23	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○				
	24	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか					

保護者との連携	25	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			○中央療育センターでの発達相談の結果のやりとりなど、連携を行い、色々な視点から子どもを捉えるようにしている。	
	26	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		○直接、園同士の交流はないが、地域の公園等で顔を合わせる機会はある。	
	27	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○				
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○				
保護者への説明責任等	30	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				
	31	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援の同意を得ているか	○				
	32	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○				
	33	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○				
	34	子どもや保護者からの相談の申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				

	35	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			○月に1回のおたよりを発行して、予定等を書面で伝えるようにしている。	
	36	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○				
	37	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				
	38	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		○コロナ禍で大々的に地域住民を招待することはできないが、今年度、小規模ではあるが秋まつりを実施。	
非常時等の対応	39	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○				
	40	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○				
	41	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○			○連絡ノートに服薬の記載、予防接種は児童表に記載してもらっている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○				
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○				○ヒヤリハットの記入用紙を描きやすいように変更し、職員間で報告し合うよう改善してきている。
非常時等の対応	44	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○				
	45	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○				